

新春 特別号

アイ・リンク

だより

2P:代表ごあいさつ

～各事業会社ごあいさつ～

3P:アイ・リンクHD、石島運輸倉庫

4P:西日本、アイ・リンクS、全京運輸

5P:マルトウ、アイ・ロジ

6P:平和、ギャバンス

7P:協栄運輸、大西運輸

8P:内畑運送、ニュース

謹賀新年

アイ・リンクグループ

代表 石島 久司



新年、明けましておめでとうございませう。おかげさまで、無事に新年を迎えることができ、心より感謝致します。

また、アイ・リンクグループの皆様、そして、ご家族の皆様におかれましては、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆さんもご存知のとおり、今年「寅年」です。「寅年」に込められた意味としては、「芽を出したものが成長していく」年や、「これから成長する物事の象徴が生まれる」年と言われています。

これらの意味を踏まえて、今年「寅年」は既存事業を成長させ、新しい事業の種をまき、芽を出させる年にしたいと思っております。

アイ・リンクグループでは昨年2月にホールディングス化を行い、新しいグループ形成を実施致しました。また、新たに「大西運輸サービス」と「内畑運送」がグループに加入したことにより、国内会社が13社となりました。

この協力度体制、経営基盤の強化を目的として、事業協同組合を立ち上げ、「アイ・リンク協同組合」を設立致します。また、アイ・リ

ンクホールディングス内にシステム課を設置致します。今後グループ内でのDXやシステム構築において、重要な位置づけとなります。各事業会社でもパソコン操作を含め、システムの相談窓口としたいと思っております。協同組合も含めて有効活用して下さい。

2022年度はグループ総売上100億円を目標としており、11年後の創業100周年には、グループ総売上300億円を目指しての重要な年となります。ここで重要な事は、成長であって、膨張ではありません。強固な経営基盤の基、利益を確保しながらの成長です。膨張は必ずどこかで破綻します。この事を踏まえ、計画達成に邁進して頂きたいと思っております。

「寅年」に込められた意味合いを基に、グループの成長を促進していく年として、皆さん一人ひとりがスピード感を持ってPDCAに取り組み、各事業会社がさらに膨張ではなく成長することに期待しております。

最後になりますが、アイ・リンクグループの皆様、そして、ご家族の皆様のご健勝とご多幸をお祈り致します。

アイ・リンクホールディングス

常務取締役 石島 真也



デジタル化で働きやすい環境を

2022年の年頭にあたり、アイリンクグループの皆様は謹んで新年の挨拶を申し上げます。一昨年から続く新型コロナウイルス感染症の流行下におきまして、グループスタッフ・ご家族の皆様一人一人の感染予防によりグループ内におきまして感染が最小限に抑えられている現状でございます。改めてお礼申し上げます。

グループにおきましては足元、燃料・アドブルー・その他仕入商材等の高騰により取り巻く環境は非常に厳しくなっている現状です。この厳しい状況の中、グループ一丸となり皆様と協力し、この難局を切り抜けていきたいと考えております。

アイリンクHDにおきましては、業務のデジタル化・システム化、又様々な書類等のWEB化を推進し、スピード感をもつて、手続き等が簡単にできるようにし、アイリンクHDグループスタッフの皆様働きやすい環境を整えるべく、今年一年デジタル化を進めていく所存でございます。

最後にアイリンクHDはグループ各社とのネットワークを最大限に活用し、新しい時代をグループスタッフ皆様と切り拓いてまいりたいと考えております。引き続きのご支援、ご協力をお願いし、私の年頭の挨拶とさせていただきます。

石島運輸倉庫

専務取締役 川島 清



「安全第一」最優先に

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は、皆様の多大なご尽力とご家族の方々の温かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。この場をお借りいたしまして深く感謝申し上げます。

さて、現在も燃料の高止まりが続く物流業界の環境は厳しく、また、新型コロナウイルスの終息もいつになるのか難しい状況かと思えます。

このような中ではありますが、昨年2月より新体制としてスタートし、新規のお客様との取引も開始となりました。本年も、社会情勢の変化にしっかりと対応しつつ、経営基盤を固めてまいりたいと思えます。皆様におかれましても、まずは健康に関して十分に留意されるようお願いいたします。そして、明るく楽しく元気に邁進していきましょう。

本年もすべての業務において「安全第一」を最優先にし、皆様が安心して働いて頂けますよう、努力していく所存です。皆様には、安全意識を更に向上させて頂き、事故防止対策へのご協力をお願い致します。

結びになりますが、お取引先の皆様、グループスタッフの皆様、そしてご家族の皆様のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

石島運輸倉庫西日本/アイ・リンクサービス 代表取締役社長 上田 二三夫



正しい意思決定・判断スピードを

アイ・リンクグループの皆様、新年あけましておめでとうございます。おかげさまで、無事新年を迎えることができたのも、ひとえに皆様の協力の賜物です。

また、昨年は未だに新型コロナウイルスの影響が大きく、不安な生活を強いられる中、皆様には業務にご尽力いただき誠にありがとうございました。

さて、石島運輸倉庫西日本は昨年2月の分社化に伴い、新たなスタートを切るこゝとが出来ました。社会情勢は厳しい状況が続く中、石島運輸倉庫西日本、アイ・リンクサービスとしても思い通りにならないことが多く、課題が残る1年となりました。

まずは事故防止とスタッフさんの健康を第一の目標として改善に取り組みます。皆様の安全を守るためにも、今まで以上のご協力をお願いいたします。

昨今は、SDGsや半導体不足などの言葉が多く聞かれ、日本の多くの産業、文化において想像以上のスピードで変化が起きている。我々、物流業・派遣業を行っている会社にも多くの変化が予想されます。今まで以上に、正しい意思決定・判断のスピードが必要です。一人一人が正しく、素早い判断ができるように成長することが、個人、会社の成長に繋がり、良い職場環境が作れると考えています。皆様とアイ・リンクグループの更なる発展の為に、飛躍できる年にしていきましょう。

今年もスタッフの皆様が安全・健康に仕事ができる会社になるよう邁進して参ります。皆様のご多幸とご健康を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

全京運輸

代表取締役社長 藪内 久男



3BC輸送の実現を

新年あけましておめでとうございます。アイ・リンクグループの皆様、ご家族の皆様方におかれましては、新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお喜び申し上げます。また、旧年中は皆様方に多大なるご尽力・ご協力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

2021年は、新型コロナウイルス感染症の変異株が猛威を振るうなど、予断を許さない状況でありました。その中で、無観客ながら開催された2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、私たちに多くの感動と笑顔を与えてくれました。

運送業界でも、コロナにより、飲食業や企業様向け荷物が停滞するという多大な影響を受け、今なお先行きが不透明な状況下にあります。それに加え、燃料やアドブルーなどの車両運行に関わる製品の価格高騰も厳しい状況が続いています。

その中で、弊社は経営理念である「真心つなぎ人財づくり」の精神の基、中期3年計画での3BC輸送（グループ内アンダー輸送、軽便輸送、大手新規顧客開拓）の早期実現と、組織的な業務体制への転換に取り組んでいます。また、アンダー輸送や個配、自車増便などを実行して新たな価値づくりをするほか、チーム制導入、経営管理チームの確立、プレイングマネージャー育成等を行い、組織体として活動していく基盤作りを行っています。

今年は上記に加え、ドライバーさんへの安全教育、全スタッフさんの健康管理強化にもより一層努めてまいります。

これらを通し、本年もお客様のご要望にお応えできる企業に向け、日々邁進する所存でございます。

最後になりますが、アイ・リンクグループの皆様と、ご家族様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

マルトウ

代表取締役社長 澤田 豊



スピード感を持って

新年、あけましておめでとございます。昨年中におかれましては、スタッフさん、ご家族様、グループ各社皆様方の多大なご協力のおかげにより、無事に新しい年を迎える事が出来ましたこと、この場をお借りし心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、2019年から始まった新型コロナウイルス感染症との闘いも約2年が経ち、日常生活やビジネススタイルも大きく変化いたしました。

そのような中、マルトウとしては、5月にスタッフさんが安心して働ける職場環境をあらわす「働きやすい職場認証制度一つ星」を取得。6月には本社所在地高崎市と首都圏をつなぐ新たな中継地・グループ各社のアライアンス拠点として「埼玉営業所を開設」。東京都へ乗り入れる車両の環境基準をクリアした「東京都貨物輸送評価制度準二つ星」取得と、多くのことに挑戦してきました。また、10月にはGマーク（安全性優良事業所の証）ラッピングへの協力を評価され、全日本トラック協会より感謝状をいただくことも出来ました。新たなスタンダードをつくるべく環境整備に努めた一年となりました。

そして2022年は、創意工夫と創造によりプラススタンダードを進めてまいりたいと思います。まだまだ、輸送物量もコロナ禍以前の水準に戻らず厳しい時代は続いていくかと思いますが、会社存続と発展のためにもスタッフさん皆様方のご協力とご理解をお願いしたいと思います。

そして今年「寅年」。「虎は千里行つて千里帰る」と言うことわざがあります。勢いがあり行動力に溢れていることを例えた言葉です。計画や目標に向かいスピード感を持って行動することも重ねてお願いしたいと思います。

最後にはなりますが、この新しい年が、アイリックグループ各社、スタッフの皆様、ご家族の皆様にとつてより良き年になります事をご祈念致します。年頭の挨拶とさせていただきます。本年も何卒ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

アイ・ロジアドバンス

代表取締役社長 池田 泰孝



新たな取り組みへ挑戦を

新年明けましておめでとございます。昨年中におかれましては、コロナ禍が終息しない厳しい状況の中、お客様、協力会社様、スタッフさん並びにご家族様をはじめ、グループ各社の皆様には、多大なご協力・ご尽力を頂き、心より感謝申し上げます。

さて、2021年の当社を振り返りますとロジステイクスセンター事業につきましては、通販・販促物流を中心に順調に推移し、継続して行った改善活動効果が実り、年間を通して安定稼働する事ができました。3PLソリューション事業につきましては、外食関連の物流事業が、コロナ禍の影響が解消されず、厳しい環境に置かれましたが、関係各社様のご協力により、おかげさまで無事新年を迎える事ができました。

2022年は組織基盤の強化の年とし、3PLソリューション事業につきましては、アフターコロナを見据えた中で、新エリア・新規事業の模索と新規顧客の獲得を推進し、ロジステイクスセンター事業につきましては、物流拠点の拡大検討、物販物流の業務拡大を目指します。

また、様々な環境変化に対応し、新たな取り組みへ柔軟に挑戦・構築出来る経営で、継続的な会社の発展及び社会貢献に繋がる企業づくりを目指して参ります。また、アイ・リックグループ全体の躍進に貢献できる様、取り組んでいく所存でありますので、皆様方のご指導・ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。今年も良い年でありませうように、スタッフさん並びにご家族様・グループ各社の皆様のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

平和自動車工業

代表取締役社長 深井 俊光



地域No1企業となる

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は、皆様より格別なるご支援とご厚誼を賜り、心より御礼申し上げます。今年の「壬寅」（みずのえ・とら）は「陽氣を孕み、春の胎動を助く」とあり、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になるということです。

平和自動車工業は、中期目標の「地域ナンバーワン」のモビリティサポートサービスカンパニー」実現に向け、年度内は年度基本方針である「新たな平和自動車工業の創造へ」の言葉通りに、提供サービスの進化と社内体制の強化を進めながら飛躍の前の基礎力を高め、2022年度を大きな飛躍の年に繋げてまいります。

このような想いを込めて22年の一文字には「一」を掲げる事としました。

「地域唯一」に向け、平和自動車工業のスタッフさん「一」人ひとりが、夫々の自立と想いの強さを支えに着実に「一」歩ずつ成長し、必ず『地域No1』企業となる」という強い決意をした次第です。

また、経営企画部ではホールディングスとの一体化からグループ経営体制の構築とM&A企業殿へのPMI展開を推し進め、One&Only企業への進化から唯一無二の五寶良しのビジョナリーカンパニーに向けた新化をサポートしてまいります。

皆様におかれましては、本年も旧に倍するご指導ご鞭撻を賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

ギャバンス

取締役会長 奥田 真一



グループの中核企業に

アイ・リンクグループの皆様、明けましておめでとございます。旧年中の皆さまのご支援とご指導に心より御礼申し上げます。

さて、昨年はCOVID-19の長引く影響に加え、円安、原油価格、生地原料等の高騰、コンテナ不足、海上運賃の値上げ、中国の停電問題、COVID-19拡大による生産地のロックダウンなど、お客様を取り巻く環境は非常に厳しく、それ支える物流業界としても、お客様から厳しいご要望を求められる1年でありました。

今年にはグループに加入して3年目を迎えます。グループの中核となる企業を目指したいと考えております。

その為に、今年にはスピード感を持って、新規案件の取込みや単価見直し、拠点組織の見直しなど聖域なき改善改革をチェンジ&チャレンジの姿勢で推し進めて参ります。

変わる事を恐れず、失敗を恐れず前向きに進み、1円の売上、1円のコストにこだわり、利益を出す事にこだわっていきます。

また、アイ・リンクグループの企業理念を通じて、自分で考え行動できる人材を育て上げ3年後、5年後、10年後のギャバンスを見据えた強固な組織づくりも進めて参ります。

社内外の研修を積極的に取り入れ、個人の成長を喜び、企業の成長へと繋げられる企業風土を作ります。

今後、より一層のグループシナジーを発揮して、お客様へ新たな提案を行える、他社にはないオンラインワンストップ物流企業を目指し、お客様、お取引先様、スタッフさん、皆様に喜んでいただける企業となるべく、進んでいきたいと思っておりますので、引き続きご指導、ご協力をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

より詳しくお願い申し上げます。

協栄運輸

専務取締役 平田 秀和



何事にも果敢に「トライ」

新年あけましておめでとうございます。アイ・リンクグループの皆さまにおかれましては、つつがなく新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年にも新型コロナウイルス感染症の猛威が収まらず、苦勞の多い環境の中でありましたが、協栄運輸では11月に安全性優良事業所（Gマーク）10年継続に関して、関東運輸局長より表彰状を頂くなど、明るいニュースもございました。業務遂行にご尽力いただいた皆さま、ご支援いただきましたご家族の方々へ、この場をお借りし心より厚く御礼申し上げます。

本年も未だコロナの終息が見えず、日本のみならず世界を取り巻く経済環境にも大きな打撃を与えています。その一方で、ワクチン接種や新薬の開発が進み、わずかながら明るい兆しも見えてつあります。

協栄運輸におきましても、コロナや半導体不足における問題、燃料・原料の高騰など様々な厳しい状況が続くと予想されますが、本年の干支「寅」にちなみ、何事にも果敢に「トライ」して、この新しい年がより良き年になるよう、スタッフさん一同「明るく・楽しく・元気よく」力を合わせて事業の拡大に邁進していきたいと思っております。

最後となりますが、お取引先の皆さま、アイ・リンクグループ各社の皆さま、ご家族の皆さまのご多幸とご健勝をご祈念いたします。新年の挨拶とさせていただきます。

本年も何卒、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

大西運輸サービス

代表取締役社長 平野 裕一



真心をもって人財づくりを

新年、あけましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

今年も寅年です。寅年を六十干支で表すと壬寅（みずのえとら）。優しいトラを意味し、家族を大切に他人にも心を開く良い年になりそうです。

寅にまつわることわざは、たくさんあります。虎穴に入らずんば虎子を得ず・「危険を避けてばかりでは、大きな成果は得られない」・虎に翼・「もともと強いものにさらに新たな能力や武器が加わりさらに強くなること」・虎は死して皮を留め、人は死してなお残す・「虎は死んでも美しく立派な皮を残すように、人も死んでも名を遺すような生き方をしたい」

どれも、好きなことわざです。今年は、このことわざにトライしたいと考えます。さて昨年9月より、アイリンクグループの仲間入りをし、早くも4か月が経ちました。4月にM&Aで話が済み、9月には企業締結と云う異例の速さで決まりました。これもグループの資本力、躍動力、代表や常務の人徳によるものです。ありがとうございます。

今後はグループの発展に尽力します。新型コロナウイルスの拡大から2年、多くの企業が倒産し、生活環境も一変しました。しかしながら、ようやく光が見えてきました。ワクチン・治療薬の開発により鎮静化しつつあります。これからが正念場です。発展躍進のチャンスです。

アイリンクグループの経営理念「真心つなぎ人材づくり」。人を真心をもって接し大事にする、大事に育てる。人材づくりは大変難しいことですが、成し遂げなくては、いけません。グループ全体で力を合わせて頑張りましょう。

内畑運送

代表取締役社長 上田 二三夫



事故防止軸に物流の質向上を

アイ・リンクグループの皆様、新年あけましておめでとうございます。皆様のご協力で無事新年を迎えることができ、心より感謝申し上げます。内畑運送株式会社は昨年の9月にアイ・リンクグループに参入しました。また、内畑運送の代表取締役社長に就任させて頂いたことになり、これまで以上に身が引き締まる思いです。まずは、グループの一員として事業基盤の安定を目指し、グループの発展に貢献していきます。

今年にはグループ理念である「真心つなぎ 人財づくり」の浸透を目指し、お客様・お取引先様・地域からさらなる信頼を頂けるように努めてまいります。そのためには事故防止を軸とした物流の質の向上が大切だと考えています。スタッフの皆様と協力し、アイ・リンクグループの核となるような会社を目指していきます。

また、内畑運送のドライバーさん、事務職の皆様にはアイ・リンクグループへの参入に伴い、様々な変化があり戸惑う部分も多かったと思います。皆様の技術と経験はグループの中でも特に優れていると、日々感じます。その技術と経験を活かし、更なる発展を目指していきたいと思っております。

今年もスタッフの皆様が安全・健康に仕事ができる会社になるよう邁進して参ります。皆様のご多幸とご健康を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

元日恒例「安全祈願祭」



1月1日、群馬県桐生市の根本山神社にて、アイ・リンクグループ安全祈願祭が執り行われました。本年も事故ゼロを目指していきましょう。

22年度グループ基本方針を公表



グループ経営方針発表会が1月8日に開かれ、2022年度のグループ基本方針が石島代表より発表されました。

基本方針は「人財づくりによるネクストステージへの挑戦」。

スローガンは「One & Only」唯一無二の存在へに決定しました。

発表会の動画は各事業会社に配布しております。ご視聴されたい方は、各事業会社社長にお問い合わせください。

協栄がGマーク表彰



安全性優良事業所の認定(Gマーク)を、年以上継続して取得し、安全な輸送で社会に貢献したとして、協栄運輸は2021年 月 日、関東運輸局長より表彰を受けました。

編集後記

新年、あけましておめでとうございます。1月号はご挨拶の掲載が中心となりました。▼昨年からは、真心のある人の話す言葉に文章でも同じだなと日々感じます。社内報も真心を込めて作成できるよう、自分を磨きながら励んで参ります。▼各事業会社で話題になっていることなど、どんな細やかなネタでもご提供ください。本年もよろしくお願ひ申し上げます。(編集委：大澤)